

作業仕様

2019.8.9.修正 1(三原)

下地構成、枠組み、12 mm合板下張り後、9.5 mm P B 重ね張り、マルチフィラー・B ドライ
下塗り

(1) 天井見付

焼石膏置引きを張付けし、留め補修とする。

(2) 天井

さやか天井を 2 回塗りとする。

(3) 正面左壁

タナクリーム N-20 で下地調整の後、タナクリーム#200 を塗り付け、磨き仕上げとする。

(4) 正面右壁上部

B ドライで中塗り後、家紋（焼石膏置引き）を張付け、家紋の中はジュラク仕上げとし、外は砂壁仕上げとする。

(5) 正面右壁腰壁

鎧壁仕上げとし、B ドライで中塗りの後、漆喰仕上げとする。

(6) 正面右壁腰見切り

蛇腹洗出し仕上げとし、ドカモルで中塗りの後、大磯石を塗り付け、洗出し仕上げとする。

(7) 袖壁内

シラス壁仕上げとし、中霧島壁ワイルドを塗り付け、スチロゴテ仕上げとする。

(8) 袖壁外

黄土中塗り仕上げとし、チリ塗り・角和紙張りの後、黄土中塗りを塗り付け、撫で仕上げとする。

(9) 丸柱

掻き落とし材（ライムコート）を塗り付け、掻き落とし仕上げとする。

（10）擬石

色セメントモルタルを塗り付け、擬石仕上げとする。

（11）巾木

黒セメントモルタルを塗り付け、押さえ仕上げとする。

（12）床ボーダー

下塗りの後、地場産砂利を塗り付け、洗出し仕上げとする。

（13）床

新黄華砂利敷き込み

注意事項

- （1）実行委員の指示のもと、「作業開始」・「作業終了」の行動を共にする。
- （2）各工程の標準時間から10分経過した時点で作業を打ち切りとする。
- （3）材料および不都合が発生した場合は、速やかに実行委員・審査委員に連絡すること。
- （4）架台周辺の整理整頓に心掛ける。
- （5）安全作業に心掛ける。